

アフター通信

2022年6月15日 NO.65
特定非営利活動法人
アフタースクール運営会
文責 理事長 矢野 穂

コロナのワクチン接種の4回目が始まりました。しかし、北海道は、感染者数も高止まりで、障がい者福祉事業所でのクラスター発生が、ニュースで伝えられています。

今後も利用者の皆さまの体調に気をつけながら支援をしていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

最高の贈り物がありました

児童デイプレイズホームを利用されていた長岡まゆさん(現在高1)から卒業記念にお鍋とフライパンを寄贈していただきました。カレーライスが大好きだったまゆさん。これからもカレーライスを作るたび、食べるたびにまゆさんの「サイコー!!」と言う笑顔を思い出します。

大切にに使わせていただきます。



伏見支援学校運営協議会

3年前から、理事長の矢野は、札幌伏見支援学校の学校運営協議会の委員を務めさせていただいています。年5回、委員の方が集まり、地域資源を活用した教育活動の充実のために、多くの協議をしてきています。協議会の中で出た、障がいのある方たちを地域の方々を知って頂くために、学校のホームページの更新についての意見が出て、伏見支援学校本校、もなみ学園分校のホームページ共に、随時、子どもたちの様子も含め、掲載されるようになりました。今年度は、本校、分校に分かれて、地域の商店、福祉関係者との連携を更に深めていくこととなっています。また、本会の児童デイプレイズホーム、居宅介護 EDI を利用されている馬場さんのお母様がもなみ学園分校の PTA 会長として委員になり、今年度の活動が始まりました。



コラム NO.22

「コラム最終回・別れのマイルール」

八雲 七

この時期（執筆時3月）は別れの多い季節である。特に介護や福祉の業界は転職・転勤が多い職業の1つと言われる。私自身もいろんな「別れの場面」に立ち会ってきた。そんな私には決めている1つのルールがある。それは「辞めないで」と言わないことである。たとえどんなに私と仲が良くお世話になっている関係でも言わない。決して私の感情がドライだからではなく明確な理由がある。相手の立場で考えると、辞めると決断したからには理由があるので決断を覆す武器（環境面、待遇面の改善などの権利）を持たない私が「辞めないで」と言ったところで状況が変わらないということが経験上、身に染みて分かっているのである。「辞めないで」と言えるのは武器を持つ人の特権だと思っている。私も約2年間コラムを書いてきたが今回で最終回になります。コラムを書くという貴重な経験が出来たのは、つたないコラムを我慢強く読んでくれた皆さんのおかげでした。ありがとうございました。

※約2年間に渡ったコラムの執筆、ありがとうございました。コラムに対する問い合わせ等を複数いただきました。また、機会がありましたらよろしくお願いいたします。